

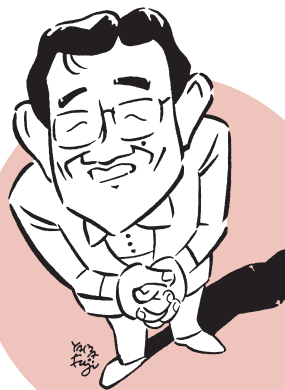
本人の短所ではなく、長所を真似る。歌まね史上最高の名人芸。

現在、「丸山おさむ劇場 ゴールデンヒット歌謡史・ダイジェスト版」が全国各地で大好評!

モノマネ
声帯模写
歌まね

丸山おさむ

MARUYAMA OSAMU
出身地 ●新潟県上越市



●家電メーカーのサラリーマンを経て、昭和51年素人コンテスト番組で優勝、笑いの道へ。若い頃10年間携わったテレビ番組でのフルバンドによる出演歌手の替わりの音合わせ(これは御本人と同じキーの高さ)、前説(公開番組の収録前に諸注意を説明し、かつ、笑わせたり雰囲気盛り上げる、テレビには映らない裏方の仕事)、ナイトクラブ、キャバレー、ショーパブ、寄席、ラジオDJなど、数多くの経験を積み重ねた結果、3オクターブの歌唱力、卓越したおもしろい話術を身につけ、知的でウイットの効いた笑いをモノマネに取り入れる。ラジオ・TVも出演多数。

レパトリーは200人以上、文化人・評論家にファン多し。

●社団法人落語協会・東京演芸協会 正会員

歌まねでは史上初! 文化庁芸術祭優秀賞受賞 受賞作「ゴールデンヒット歌謡史〈旧・戦後歌謡史〉」

文化庁芸術祭とは

毎年1回行われる、プロを対象とした、わが国で一番権威あるコンテスト。音楽(クラシック)、演劇、舞踊、ラジオ・テレビ(ドキュメンタリー/ドラマ)、大衆芸能部門があり、毎回200組以上のエントリーがある。

著名な評論家、新聞記者、大学教授の方々が専門の審査員で、全員の審議ののち、投票によって受賞が決まる。

今までの主だった受賞者(大衆芸能部門)

やすしきよし、三遊亭円生、春風亭小朝、立川志の輔、いっこく堂、春風亭昇太、三遊亭小遊三、石川さゆり、桂三枝、ナポレオンズ

受賞作「ゴールデンヒット歌謡史」の内容

昭和20年の終戦から平成の現代まで、その時代時代の歌手の歌まねをエピソードと・世相風刺を折り込んだトークで、爆笑・感心・感動の連続。若い人も歴史の勉強になると各方面で高い評価を得ている。講演会としても笑いながらためになると評判。

地域や人物・会社の歴史を内容に折り込むことも可能。

- ステージ時間 10分～90分位まで
- ご本人や関係者ゲスト出演のデラックスバージョンもあり

■プロ用音響機材持ち込み
[オペレータ付(1または2名)] ※別途費用

■ご準備いただく物

- 舞台袖またはパーテーション ●楽屋 ●姿見
- ステージ上に水・おしぼり用の小さなテーブルまたはイス

「ゴールデンヒット歌謡史」主なレパトリー

- | | | | |
|---|--|---|--|
| ■昭和20年代
玉音放送
灰田勝彦
岡晴夫
淡谷のり子
田端義夫
小畑実
東海林太郎
ディック・ミネ
鶴田浩二
藤山一郎
霧島昇 | ■昭和40年代
黒沢明とロス・プリモス
鶴岡雅義と東京ロマンチカ
ロス・インディオス
内山田洋とクールファイブ
歌いとうとハッピー&ブルー
加山雄三
和田アキ子
ピーター
美川憲一
三善英史
沢田研二
五木ひろし
森進一
布施明
尾崎紀世彦
千昌夫
フォーククルセィターズ
加川良
坂本九
守屋浩
三波春夫
春日八郎
三橋美智也
北島三郎
三田明 | チューリップ
甲斐バンド
RCサクセッション
■昭和50年代～平成
上条恒彦
子門真人
さだまさし
アリス
松山千春
伊藤敏博
小椋佳
堀江淳
もんだ&ブラザーズ
サザンオールスターズ(桑田圭祐)
長淵剛
安全地帯(玉置浩二)
尾崎豊
藤井フミヤ
山崎まさよし
河村隆一
平井堅
B'z
森山直太郎 | ■著名人・俳優
大河内伝次郎
市川右太衛門
片岡千恵蔵
左ト全
上田吉次郎
勝新太郎
高倉健
菅原元太
田村正和
平泉成
森田健作
中村雅俊
長嶋茂雄
田中角栄
■アイドル
【御三家】
橋幸夫
舟木一夫
西郷輝彦
【新御三家】
野口五郎
郷ひろみ
西城秀樹
【その他】
あいざき進也
城みちる
太川陽介
田原俊彦
近藤真彦 |
|---|--|---|--|

■フォークソング・ニューミュージックバージョン(生演奏)

■美空ひばり

幼少期より晩年まで、様々なバージョンで歌い分けます。

■グループサウンズバージョン(生演奏)

※この他にも多数レパトリーあり

講演会、研修会、ディナーショー、
イベントアトラクション、ブライダルで活躍中。

講演会演題 「何事も模倣から」 「笑いコミュニケーション」(60・90分)